

## ■ 経営状況入力

経営状況Y評点の営業キャッシュフローの数値が県からきた経営状況結果と違いますがどこがおかしいでしょうか？

営業キャッシュフローの計算式は下記の通りです。

(ここでは経審博士 12 で説明していますが、経審博士 11 も同様です。)

### ■ 営業キャッシュ・フロー

$$\begin{aligned}
 &= \text{経常利益} + \text{減価償却実施額} - \text{法人税、住民税及び事業税} \\
 &+ \text{貸倒引当金 (前期-当期)} + \text{投資等貸倒引当金 (前期-当期)} \\
 &+ \text{売掛債権 (前期-当期)} + \text{仕入債務 (当期-前期)} \\
 &+ \text{棚卸資産 (前期-当期)} + \text{受入金 (当期-前期)}
 \end{aligned}$$

- 引当金とは、貸倒引当金（投資等固定資産に計上される貸倒引当金を含む）
- 売掛債権とは、受取手形及び完成工事未収入金の合計
- 仕入債務とは、支払手形及び工事未払金の合計
- 棚卸資産とは、未成工事支出金及び材料貯蔵品の合計
- 受入金とは、未成工事受入金
  
- 減価償却実施額：未成工事支出金に係る減価償却費、販売費及び一般管理費に係る減価償却費、完成工事原価に係る減価償却費、兼業事業売上原価に係る減価償却費等の合計額を言う。

上記の単年度の営業キャッシュフローに対して、下記のように2年の平均値を求めるために、完成工事未収入金や未成工事支出金等は3年間のデータの入力が必要な科目があります。

#### ① 営業キャッシュフロー

$$= \frac{\text{営業キャッシュフロー(2期平均)}}{1 \text{億(円)}}$$

注) 小数点第4位を四捨五入。上限値 15.0 下限値 -10.0

Answer ① : 上記の式と項目が合っているか確認してください。

次ページの入力イメージを参考にしてください。

Answer ②: 勘定科目の入力項目全て入っていますか? 経審博士 12 の画面で具体的に説明しますと下記の通りです。

勘定科目	直前3期	基準決算以前	基準決算
受取手形 ③	31,202	30,214	33,000
完成工事未収入金 ③	166,321	182,031	200,000
未成工事支出金 ③	112,345	102,345	142,300
材料貯蔵品 ③	14,352	13,252	14,222
貸倒引当金 ③	-200	-300	-300
投資等貸倒引当金 ③	-100	-100	-100
固定資産合計	295,601	320,000	340,000
資産合計(総資本) ②	905,020	943,977	920,000
支払手形 ③	65,324	95,324	68,000
工事未払金 ③	86,354	95,314	78,000
未成工事受入金 ③	95,354	78,210	65,000
流動負債合計	412,365	453,245	420,000
固定負債合計	182,424	190,520	170,000
利益剰余金合計	265,432	253,456	280,000
純資産合計 #	310,231	300,212	330,000
完成工事高(売上高)	1,000,000	1,000,000	1,000,000
兼業事業売上高	98,000	88,000	17,000
売上総利益	153,423	183,000	230,000
営業利益 ②	19,823	22,301	26,000
受取利息配当金	300	250	200
支払利息	6,530	5,210	4,000
経常利益 ②	16,324	16,200	18,000
法人住民税&事業税 ②	8,124	7,800	7,520
減価償却実施額 ②	15,333	15,000	18,961

[注意] 勘定科目の右の記号は下記を示します。  
 無印: 基準決算のみの入力  
 ②: 基準決算と基準決算以前の入力が必要  
 ③: 基準決算と基準決算以前、直前3期の入力が必要  
 #: 自己資本額の激変緩和を採用するとき基準決算以前の入力も必要  
 (必要以外の入力をして計算には関係しません)

- 営業キャッシュフローは、上記赤枠の勘定科目により計算を行います。
- 経審博士Ⅷ以前のデータをバージョンアップ時にコンバートしただけでは、直前 3 期のデータが入っていません。そのデータが無いために計算が合わないというお問合せも多くあります。赤枠内のデータを全て入力して再度ご確認ください。

以上